



発行：筑波サーキット

2020.2.13.改訂

## 2020 KTM 390/250 CUP 競技規則

### 総則

KTM390/250CUPは、2020 MFJ国内競技規則および筑波ツーリスト・トロフィー特別規則に基づき、下記の各項に沿って開催される。

また、READY TO RACEの理念に則り、KTM製モデルのユーザーが「初心者でも手軽に、安全にレースを楽しめる」ことを目的とするものである。

### 1. 開催クラス

#### (1)KTM 390 CUP

- ①ストッククラス（参加可能車両 RC390、390DUKE）
- ②カスタムクラス（参加可能車両 RC390、390DUKE）

#### (2)KTM 250 CUP

- ①ストッククラス（参加可能車両 RC250、250DUKE）
- ②カスタムクラス（参加可能車両 RC250、250DUKE）

#### ※参加可能モデルについて

- ①2013年以降に製造された、KTM 390DUKE、250DUKE、RC390、RC250。但し、RC CUP車での参戦は不可。
- ②Husqvarna SVARTPILEN401 / VITPILEN401での参加を認める。  
(DUKEシリーズとエンジン、フレーム共有車両の為。)
- ③新型モデルが追加された場合や、実際の走行性能に大きな差が生じた場合は年度の途中でもハンデを設ける場合がある。

### 2. 開催日・会場

- 4/18 筑波サーキット（筑波ツーリスト・トロフィー in APRIL）
- 7/18 筑波サーキット（筑波ツーリスト・トロフィー in JULY）
- 9/12 筑波サーキット（筑波ツーリスト・トロフィー in SEPTEMBER）

### 3. 参加資格

MFJロードレース フレッシュマン、国内、国際、いずれかのライセンス所持者。

なお、過去に全日本ロードレース選手権等に参加経験のあるエントラント及び、それらに準じると判断されたエントラントに関しては、当該レースの総訓に則り、賞典を除外、または主催者判断により、参加を受付ない場合がある。

※誤った申請が確認された場合は、参加受理書の発送以降であっても、上記を適用する。

## 4. 参加方法

筑波サーキットが定める申込期間内にサーキット事務局へ参加を申し込む。参加料はサーキットの規定による。

## 5. 車両規則

### (1)基本仕様

筑波ツーリスト・トロフィーが定める大会特別規則および共通車両規定に準拠する。ただし、下記の事項については適用外とするが、飛散防止処置および脱落防止処置が完全になされていること。最終判断はレースの車検長および競技監督による。

- ・ヘッドライト/テールライト/ウインカー/リフレクターの取り外し。
- ・セーフティーバー/センタースタンド/サイドスタンドの取り外し。
- ・同乗者用フットレスト/クラブレールの取り外し。
- ・ホーンの取り外し。

※タイヤ及びエンジンオイルの銘柄に指定はないが、純正指定オイルMOTOREX社製オイルの使用を推奨する。

《下記には処置、装着が特に必要な項目を列挙する》

①全てのドレーンプラグはワイヤーロックが必要。外部オイルフィルタースクリューおよびオイルフィルターボルトでオイルパンに進入するものについても、全て安全にワイヤーロックされていなければならない。オイル供給ホースは、完全ノーマル状態で差し支えないが、金属製のホースバンドで確実に固定し、ホースジョイントはフレア加工(抜け止め)の施してあるものの使用が望ましい。

※車両または当該部品の構造上、ワイヤーロックが不可能な場合に限って、液体漏れがないよう規定トルクで締め付けられている場合を例外とする。例:RC390のフロントフォークオイルドレンボルト

②クローズドブリーザーシステムには一切の加工・変更・取り外しをしてはならない。ただし、エアフィルターなどの該当機種専用のKTMパワーパーツの使用は認められる。エアクリーナーボックスの下部に排出穴が開いている場合は、オイルが受けられるように塞がれていること。

③アンダートレイが装着されていること。これはエンジンオイルや冷却水が漏れた際に路面にこぼさず受け止められる物で、かつ、コーナーリング中のバンク角度も各サーキットの基本仕様に準拠したバンク角が確保されていること。

### (2)改造範囲

#### A. ストッククラス

完全ノーマル車であること。スプロケット、チェーンの交換は認められるが、その他の部品の交換は認められない。走行性能に影響しないアクセサリ部品の装着は、KTM純正パワーパーツに限ってこれを認める。一例は下記。変更可・・・レバー類、レバーガード、シート、各所アルマイトカバーなど。

変更不可・・・マフラー、ステップ、サスペンションなど。

ただし、スプロケットガードなど、車両規定に定める安全性向上のためのパーツの取り付けを、強く推奨する。

また、車両保護を目的とするクラッシュパッドやスライダーに限って使用が認められる。(クラッシュバーの使用は認められない)

## B. カスタムクラス

下記以降に示されている項目以外の改造・変更はできない(主として改造可能項目を記す)。

### ●エンジンおよび補機

- ①インジェクションシステム(スロットルボディ、インジェクター、センサー)は車両出荷時のものとするが、セッティングの変更ならびに後付サブコンピューター(コントローラー)の取り付けが認められる。CPUの変更は不可。
- ②クローズドブリーザーシステムについては、基本仕様に準拠する。
- ③スパークプラグ、プラグキャップ、プラグコードの改造・変更は可。
- ④スロットルワイヤー、スロットルホルダー部(ラバーR・L含む)の改造・変更およびハイスロットルへの変更は可。
- ⑤クランクケースカバー(R、L)の改造・変更・追加は不可。
- ⑥オイルクーラーおよび関連部品の改造・変更ならびに着脱は不可。
- ⑦ラジエーター本体の加工、変更は不可。ラジエーターカバー、クーリングファン、サーモスタットの改造・変更ならびに着脱は可。
- ⑧排気量の変更および、RC250/250DUKEを対象とした純正300ccボアアップキットの装着は認められない。

### ●フレーム

ゼッケンプレート、メーター、シート等の取り付けのためのステーの追加は可。フレーム及び付随するステーの切断は不可。

### ●フロントサスペンション

エア加压、オイル・スプリングの変更、内部構造変更・改造は可。イニシャルアジャスターの取り付けが認められるが、十分安全に配慮すること。

### ●リアサスペンション

車体に一切の追加加工なしに取り付けることが可能なアフターパーツへの変更、スプリングの交換及び車高調整を目的としたパーツ(リンク含む)の取り付けは可。改造・加工は一切禁止する。

### ●ステアリングステム、トップブリッジ

ステアリングステム、トップブリッジ等ステアリング関連部品の変更は可。必要でないステー類のカットは可。ダストシールの取り外しは可。スタビライザーでの補強は可。

### ●スイングアーム

車体に一切の加工なしに取り付けることが可能なアフターパーツへの交換は可。長さについてチェーンアジャスターの調整範囲を超えるホイールベースの変更は不可。

### ●ステアリングダンパーの取付けは可。但しステアリングストッパーとの兼用は不可。

### ●スプロケット、ドライブチェーン ファイナルレシオの変更は可(チェーンサイズ含む)。

### ●ハンドルバー 改造・変更は可。

### ●メーター類 改造・変更および取り外しは可(ケーブルを含む)。

### ●カウリング 着脱ならびに改造・変更は可。ただしスタンダード車のシルエットからの大きな変更は不可。

●シート、シートカウル

改造・変更は可。ただしスタンダード車のシルエットからの大きな変更は不可。

サイドカバーの取り外しは不可。

●フェンダー

フロント、リア共改造・変更は可。ただしスタンダード車のシルエットからの大きな変更は不可。

●ブレーキ

フロント、リア共ブレーキの変更が認められる。この項目で示すブレーキとは、入力部分(レバー、ペダル)からキャリパー(パッド、ライニング含む)までの構成部品、およびブレーキディスクまでを指す。

●ワイヤーハーネス

改造・変更は可。

●バッテリー

改造・変更および取り外しは可。

●リミッター装置(イグナイターを含む)

改造・変更および取り外し可。

●ステップ

改造・変更は可。

●排気管

音量規定値以内のものに変更可。

●タイヤ

一般市販されていて通常のルートで購入できる一般公道用オンロードタイヤのみ使用可。但し、摩耗限度を超えた物、およびグルーピング・カッティングを施した物の使用は禁止される。また、ウエット時に限りレーシングレインタイヤの使用が認められるが、グルーピング・カッティングを施した物の使用は禁止される。

●ホイール

変更が認められる。ホイール変更に伴うカラーの改造・変更およびキャリパーサポートの追加が認められる。

●互換性

同メーカーの車両及び参加可能モデル間において、一切の追加工無しで組み付け可能な単品、結合部品の交換は認められる。但し、コンペティションモデルの部品の使用は禁止される。

この項目は、改造範囲で認められていない場合にも適用となる

## 6. その他

①本大会に参加を希望する者は大会の主旨「初心者でも手軽に、安全にレースを楽しむことを目的」に賛同することを前提に、主催者が「危険な行為」と判断した事例には毅然たる罰則を与える。

②車両規則の問い合わせについては、筑波サーキットに一元化する。

一般財団法人日本オートスポーツセンター/筑波サーキット

筑波ツーリスト・トロフィー大会事務局

〒304-0824 茨城県下妻市村岡乙 159

TEL:0296-44-3146/FAX:0296-43-1115